

第 65 回道小教育研究旭川大会の準備状況について

玉井 一行 研究指名理事

研修部は、大会要項の作成に向け原稿の取りまとめを終え、8月 29 日には各地区への発送ができるよう最終準備に取り組んでいる。

会場部は、ハイブリッドによる配信への対応に伴い、全体会場、分科会会場ともに会場の見直しと組換えを行った。また、会場準備に加え、オンライン配信に関わる準備も含め、大会当日のスムーズな運営をイメージしながら準備を進めているところである。

庶務部は、申込の再確認を進めている。会同者の昼食についても同様に再確認と準備を進めているところである。

申込関係については、第2次案内に続いて開催要項変更、第3次案内、申込再確認等、複数の文書が錯綜し、少しわかりづらくなっていたことをお詫び申し上げる。また、申込に関わり3点のお願いがある。

1点目は、グーグルフォームによる申込再確認についてである。ハイブリット開催への変更に伴い、6月 23 日に「道小旭川大会受付確認について(その1)」、「その2」というメールを発出している。2次案内で申込締め切りの6月 17 日迄に申し込まれた方のメールアドレスを全道 508 名へ配信した。続けて(その2)のメールには、第 3 次案内と申込確認フォームについての案内を差し上げたところである。

参加者全員の申込確認を6月 30 日迄にお願いしているが、期日までに確認ができていなかった参加者について、再度各地区の取りまとめ担当へフォームへの申込確認依頼をさせていただいた。お手数をおかけすることになるが、協力をお願いしたい。

2点目は、参加費請求書についてである。各地区で参加者全ての確認ができたところから参加費請求書を送付する。7月 29 日までに指定の口座へ振込をお願いしたい。

3点目は、分科会研究発表者の宿泊についてである。11ある分科会について、全道各地 11 名から会同の申込をいただいた。研究発表者の方々については、8日の分科会運営者研修会受付時に実行委員会から道小旅費規程に基づく旅費を準備している。宿泊予約については個人申込となるので、各自での予約をお願いしたい。

終わりとなるが、旭川市実行委員会ではハイブリッド開催が充実したものになるよう、旭川市小学校長会全 52 名の会員が一丸となって準備を進めているところである。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。